

科目名	教育・保育課程論（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）			
授業形態	講義	学年	1	
開講時期	2023年度 後期	単位数	2	
担当教員	高田 正哉、土屋 とき子、坂下 美和、江川 千史			
内容および計画	<p>本科目は、幼稚園（認定こども園）の教育（保育）がどのような過程で進められるか、保育所の状況も踏まえて講義する。講義内では、全体的な計画を示す教育課程と、それを具体化した指導計画について、具体例を示しながら講義を行い、各自指導計画の作成を行う。本講義では、以下の項目について学ぶ。</p> <p>① カリキュラム編成における保育者の選択と課題について検討すること</p> <p>② 日本と諸外国の幼児教育（保育）カリキュラムの思想と歴史を学ぶこと</p> <p>③ 実際の幼稚園（認定こども園）と保育所におけるカリキュラム編成、教育課程作成のための子どもの理解・観察の方法、子どもの発達課程に応じた教育課程の内容を確認し、実際の指導計画の編成と事例を検討した上で指導計画を作成すること</p> <p>これらを踏まえ、幼児教育（保育）におけるカリキュラム評価とその方法や教育課程（保育課程）編成における協力と連携を確認し、今後の幼児教育（保育）とカリキュラム編成の課題を検討する。</p>			
1	教育・保育課程論におけるカリキュラムの意味（高田） 教育実践、教育経営上における教育課程・カリキュラムの意味を明らかにし、その意味を理解する。			
2	教育・保育課程の歴史と理念（高田） 教育課程がどのような経緯で誕生し、発展したか、その歴史から理解する。			
3	教育・保育課程の制度的な立ち位置 教育課程・カリキュラムが法令上・制度上でどのような位置にあるのか、具体的な法令・制度を見ながら理解する。			
4	学習指導要領の目的とその理念・歴史 学習指導要領（幼稚園教育要領、保育所保育指針等）がどのようなもので、どのような意味があるのかを理解する。			
5	子どもへの影響を考慮した教育・保育課程の編成の意味 教育課程・カリキュラムで書かれた言葉・記述が、実際の子どもの育ちにどのような影響を与えるのかを考察する。			
6	教育・保育課程を構築する方法 教育・保育課程をどのように編成するのか、その基本的な方法と視点について理解する。			
7	教育・保育課程における「評価」の意味 教育・保育課程における「評価」という営みがどのようなもので、どのような価値があるのかを理解する。			
8	幼稚園における長期指導計画と短期指導計画の編成と事例 幼稚園における長期指導計画・短期指導計画について理解し、その編成法を事例を通して理解する。			
9	幼稚園におけるカリキュラム編成と評価とその方法 幼稚園のカリキュラム編成とその評価について、その方法を含めて理解する。			
10	こども園における長期指導計画と短期指導計画の編成と事例 こども園における長期指導計画・短期指導計画について理解し、その編成法を事例を通して理解する。			
11	こども園におけるカリキュラム編成と評価とその方法 こども園のカリキュラム編成とその評価について、その方法を含めて理解する。			
12	保育所における長期指導計画と短期指導計画の編成と事例 保育所における長期指導計画・短期指導計画について理解し、その編成法を事例を通して理解する。			
13	保育所におけるカリキュラム編成と評価とその方法 保育所のカリキュラム編成とその評価について、その方法を含めて理解する。			
14	特別な配慮を必要とする子どもへの指導 特別な配慮が求められる子どもへの指導について、実際の指導計画等を踏まえて理解する。			
15	教育・保育課程から子どもの育ちを考える：まとめとして 教育・保育課程およびカリキュラムの理念・実践を踏まえて、どのような教育実践が望ましいかを考える。			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年
	ワークで学ぶ教育課程論	井藤元、尾崎博美	ナカニシヤ出版	9784779512674 2018

	(編)			

本講義は、1年前期科目「教育学概論」との連続性を意識しながら講義を進める。「教育学概論」内の教科書・資料も合わせて参照することを勧める。

参考書	『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』文部科学省 『保育所保育指針〈平成29年告示〉』厚生労働省 『幼稚園教育要領解説』文部科学省 『保育所保育指針解説書』厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府、厚生労働省、文部科学省
------------	--

成績評価

評価方法	割合(%)
講義中の課題実施、提出状況およびその内容	60
期末課題の実施、提出状況およびその内容	40

講義中の課題、期末課題等については、授業中に適宜指示する。

学習到達目標	幼稚園（認定こども園）における教育課程を理解し、保育所の状況も踏まえて、それを具体化した指導計画を自分で作成できるようになる。授業の到達目標は、先ず幼稚園教育要領の改訂の変遷と内容の変化を理解し、教育課程の全体像を掴む。その際、保育所保育指針と幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂・改定の状況も参考にする。次に、教育課程の全体像の把握を基に、教育課程の編制を理解し、具体的な幼稚園（認定こども園）や保育所におけるカリキュラム編成を学び、実際の指導計画の編成と事例を検討した上で指導計画を作成することができるようになる。
先修条件	特記事項なし。
実務経験	福島県磐梯町における ICT 教育支援員の業務、上田市社会教育委員（高田）
その他	